

制度の進化と経済発展

— D.C.ノースと J.R.コモنزの制度進化論の比較 —

Institutional Evolution and Economic Development

— The Comparison between D. C. North and J. R. Commons' Theory
of Institutional Evolution —

高橋 真悟

Shingo Takahashi

要旨

新古典派経済学を批判して制度の役割を重視したノースとコモنزにはどのような共通点と差異があるのか。両者はともに経済主体の能動的行動の源泉に注目し、主権が制度変化と経済発展に影響を与えることに注目した。ノースは経済学理論を歴史分析へ適用し、発展途上国が市場経済へ移行する利点を主張するが、新古典派経済理論を基礎にしているため独自の貨幣論はない。一方、コモنزは法学的概念を経済分析へ適用し、先進資本主義国の富と権力の集中を是正する安定化を主張し、債権 - 債務関係を基礎にした独自の信用貨幣論を有している。

キーワード： 制度 財産権（所有権） 取引（取引費用） インセンティブ 安定化